

南山城

議会だより



No.149

2025.11.1

南山城村議会



むらの
特産品
原木シイタケ

9月
定例会

2P 一般会計

4P 決算会計

6P 緊急動議

7P 委員会報告

9P 一般質問

16P むら北南

茶振興対策事業を含む9月補正予算 可決

令和6年度南山城村決算認定 承認

土岐太郎議員の議員辞職勧告決議を可決

総務厚生 認定こども園の方針は

土木経済 野殿地区無断開発の現場視察

7人の議員が村政を問う

NTの安心・安全を守って13年

「NT防災部」部長

こばやし まこと
小林 誠 さん

減税補足給付金 可決

9月定例会

研修製茶工場採捻機購入(358万円)予算可決

令和7年第3回定例会は9月10日から、30日までの会期で開催しました。報告1件、議案審議として条例制定など4件、補正予算5件、決算認定5件が提案されました。

補正予算と決算認定を除いた案件は12日審議し可決。

補正予算5件、決算認定5件を予算決算常任委員会(鈴木委員長)に付託。

16、17日に審議し全員賛成で可決。

26日に本会議を再開し、委員長報告の後、全員賛成で可決。

そのあと、6月議会で設置された、「政治倫理審査会(政倫審)」の報告とそれを受けての土岐議員により反省文が朗読されたが、反省が不十分として、「議員辞職勧告決議(案)」緊急動議が出され、賛成多数で可決されました。

9月10日には7人の議員が一般質問で村政を問いました。

予算決算常任委員会

令和7年度
一般会計補正
予算(第4号)

補正額(増)

3302万円

補正後 歳入歳出総額

31億9024万円

主な案件

- 定額減税補足給付金(不足額給付)支給事業
- 茶業振興研修製茶工場採捻機購入、直掛け用被覆資材などの茶振興対策事業
- 高齢者福祉施設整備地の構造物撤去費
- 消防施設維持費管理事業

質問・答弁

Q 定額減税不足給付金の金額や人数の説明を。

A 前回625万円、今回473万円。人数は基準日が令和7年1月1日の基準日の転入者の前住所地、前々住所地に照会該当する人で現在調査中。

Q 旧養豚場の構造物撤去費について、契約はどうなっていたのか。

A 売手は建物撤去のみ



買い換えられる揉捻機(田山)

②令和7年度補正予算

④令和6年度決算認定

⑥辞職勧告

⑧一部事務組合ほか

⑩一般質問・廣尾

⑫一般質問・梅本

⑭一般質問・鈴木

⑯村北南

住民税確定後の定額

になっていった。また、村有財産売買契約書の中に引渡し時は更地の契約になっている。

Q 今回、耐震改修で150万円追加されたが、合計で何件か。

A 今年2件目で去年の

繰越しが1件、合わせ3件になる。

Q 増加理由は。

A 能登の地震以降、耐震診断など、興味、関心を持つ方も増えてきた。

Q 消防施設費26万円、この備品購入費は。

A ニュータウンでのホース筒先の盗難と本郷の給水管の不具合。

Q 盗難に遭ってから補充に時間がかかりすぎる、専決しても早く補充できないか。

A 事態が発生したら適切に対処したい。防犯ブザーなども含め検討したい。

可決 全員賛成

補正後 歳入歳出総額
4億5747万円

質問・答弁

Q 予備費3578万2000円の使い道に予定はあるのか。

A 今後想定される保険税の改正に向け、上昇率の緩和に対応する。

可決 全員賛成

介護保険(第2号)

補正額(増)
3957万円

補正後 歳入歳出総額
5億2114万円

介護サービス事業

補正額(増) 532万円

補正後 歳入歳出総額
1160万円

質問・答弁

Q 保険給付費が550万円になっているのは何故か。

A 地域密着型サービス

で、他市町村サービスが4月から1名増加。

Q 予備費の増額理由。

A 保険給付の減少により繰越金増加分を予備費で計上。

可決 全員賛成

後期高齢者医療(第1号)

補正額(増)
258万円

補正後 歳入歳出総額
8361万円

質問・答弁

Q 歳入で724万7000円が特別徴収が減り普通徴収が増えた理由は何か。

A 75歳の新規の場合、約6か月経たないと特別徴収にならない。

可決 全員賛成

令和7年度

公営企業補正予算

簡易水道(第2号)

補正額(増) 121万円

補正後 歳入歳出総額
1億4937万円

資本的支出の補正予算は水道施設の修繕工事に伴う補正120万9000円で、補正後の合計額は1億4937万1000円。

6月の落雷の影響で、小学校、保育園、保健福祉センター用の多重伝送装置が壊れた。新しい部品に取替え、修繕を行う。損益勘定留保資金を4760万2000円から4881万1000円として、これに充てているので、一般会計からこの会計への繰入れは、今回の場合はありません。

質疑なし

可決 全員賛成

令和7年度一般会計補正予算 主な事業概要 総額3302万円		
茶振興対策	727万円	直掛用被膜資材 3.73ha 揉捻機 一基
定額減税補足(不足分)給付金	473万円	住民税確定後の定額減税対応
道路台帳整備事業	260万円	
高齢者福祉施設地構造物撤去	100万円	コンクリート破片撤去
消防施設維持管理事業	26万円	盗難筒先補充

国民健康保険(第1号)

補正額(増)

3648万円

特別会計補正予算

令和7年度

決算認定

一般会計

総額

36億6939万円

歳出総額

36億1742万円

歳入歳出差引額

5197万円

質問・答弁

Q 村の財産の目録ができていない。専門的な方

Q 庁舎等整備基金、積

A 村の財産の目録ができていない。専門的な方
A 申し込みをしても、緊急的な業務や会議など研修に参加できないことが多々あった。

A 関係課長と話をしており、来年度は予算を取って行く方向に。

Q 職員研修事業で職員50人が23人しか受けていないのはなぜ。

A 申し込みをしても、緊急的な業務や会議など研修に参加できないことが多々あった。

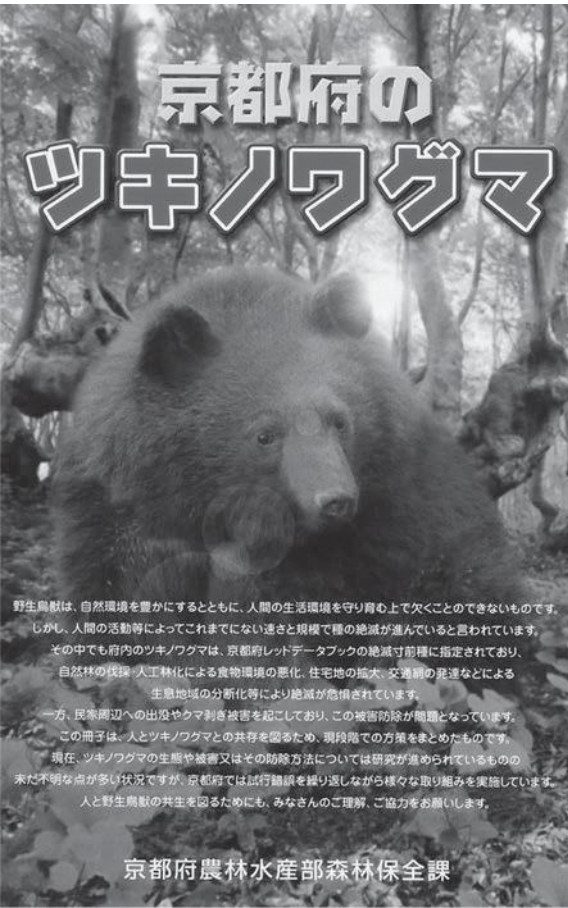
Q 南山城村自然の家管理事業271万75円、現状はどうなっているのか。

A 庁舎内でも検討委員会でも議論している。また、総務厚生常任委員会でも施設をテーマに検討を行っている。

A 建設するには、20億円くらいかかる。できるだけ6億円に近づけるように、基金を積み立てていきたい。税収を上げ、また歳出を抑えて捻出していく。

立の見通しは。

A 建設するには、20億円くらいかかる。できるだけ6億円に近づけるように、基金を積み立てていきたい。税収を上げ、また歳出を抑えて捻出していく。



京都府のツキノワグマ

野生動物は、自然環境を豊かにするとともに、人間の生活環境を守り育んでいくことができないもので、しかし、人間の活動等によってこれまでない速さと規模で種の絶滅が進んでいると言われています。その中でも府内のツキノワグマは、京都府レッドデータブックの絶滅寸前種に指定されており、自然林の伐採・人工林化による食物環境の悪化、住宅地の拡大、交通網の発達などによる生息地域の分断化等により絶滅が危惧されています。一方、民家周辺への出没やクマ刺き被害を起こしており、この被害防除が課題となっています。この冊子は、人とツキノワグマとの共存を図るため、現段階での方策をまとめたものです。現在、ツキノワグマの生態や被害又はその防除方法については研究が進められているものの、未だ不明な点が多い状況ですが、京都府では試行錯誤を繰り返しながら様々な取り組みを実施しています。人と野生動物の共生を図るためにも、みなさんのご理解、ご協力をお願いします。

京都府農林水産部森林保全課

各地で出没しているクマ
(京都府農林水産部森林保全課資料)

Q 田山地域で、山手に目の前数十メートルの距離に熊がいた。許認可が京都府だが積極的に地元から取組の声を上げないといけない。

A イノシシ、鹿、同様に駆除できるような形を自治体として、京都府に要望し計画を変えてもらう。

Q 観光費の委託料699万9000円はどこに何を委託したのか。

A 観光のツアーメニューをつくり上げる事業で、村のお茶を体験するツアーを二つ作っている。村の観光を広く外に発信するポータルサイトの刷新している。

Q コンサルも造成の支援事業、何で随意契約なのか。

A 近畿日本ツーリストさんは本村を熟知されている。今後は産業観光課で進めていきたい。

Q 交通安全啓発事業に16万円予算が計上されているが、当日は9名しか参加してない。

A 高齢者の方の運転免許の返納の観点での交通安全なので、人数の確保に努めたい。



現在作成されたパンフレット

前年度の繰越金4389万円を除いた実質単年度収支額は317万円。認定 全員賛成

特別介護会保計

介護保険料 認定額 1億 146万円
収入未済額 9691万円
収入未済額 469万円
介護サービス事業助定分、歳入決算合計額 1010万円
歳出決算額合計額 476万円
認定 全員賛成

国民健康保険特別会計

歳入決算額 4億1864万円
歳出決算額 3億7160万円
歳入歳出差引額 4704万円

後期高齢者医療保険 特別会計

歳入額 7891万円
歳出額 7626万円
歳入歳出差引残額 264万円

高額治療の入院給付が
1595万1008円の
増。薬価改定で847万
5401円の減。

質問・答弁

Q 滞納3万4800円の徴収は無理のないように進めているか。

A 他の保険税とかの絡みもあり、納税納付相談をしている。

認定 全員賛成

簡易水道 事業会計

収益的収入(税抜き)は
1億8893万円。支出
は1億8572万円。

資本的収入(税込)は7
814万円に対し、資本

的支出(税込)は建設改良費3216万円、企業債償還金1億504万円。

主な事業として

公共施設加圧所ブースターラインポンプ取り替え工事など実施。

給水人口は2122人で1日平均配水量は327m³。

村全体の水道の普及率は90.3%となっている。

質問・答弁

Q 8月末の未収状況は。

A 滞納額は1万3462円から9万2510円まで減っている。

Q 殿田地区での企業誘致のために相当額の費用を使った。

水道設備にも相当額の費用をかけたが、将来的な見込みはあるのか。

A 社長が交代されたが、事業者は諦めていない。

認定 全員賛成



安心・安全を届ける水道事業 (本郷)

条例改正・規約改正

南山城村職員の育児休業等に関する条例、伊賀市・名張市・笠置町及び南山城村ごみ処理広域化施設適地選定委員会設置条例、同じく共同設置に関する規約が提案され、それぞれ可決されました。



南山城村職員の育児休業等に関する条例

地方公務員の育児休業に関する法律の一部改正に伴い、本村職員の条例についても同様に改正するものです。

非常勤職員の子は3歳となっていたものを小学校就学までとするほか、勤務時間の途中でも取得可能となりました。

可決 全員賛成

伊賀市・名張市・笠置町及び、南山城村ごみ処理広域化施設適地選定委員会設置条例



伊賀市・名張市・笠置町及び、南山城村ごみ処理広域化施設適地選定委員会の共同設置に関する規約の制定

現在、進められているごみ処理広域化施設の整備に要する適地を選定するにあたり、構成市町村が共同して設置する委員会の付属機関として、各市町村にも同様の委員会を設置する条例を定めるものです。

反対討論 鈴木かほる

施設の全容が未定の状況で、用地選定が先行していることに同意はできない。

賛成討論 徳谷 契次

施設建設には相当な時間がかかる。速やかに事業を進める必要がある。

可決 賛成多数

前述の設置条例に関する具体的な内容についての規約を定めるものです。

反対討論 鈴木かほる

施設の全容が未定の状況で、用地選定が先行していることに同意はできない。

賛成討論 廣尾 正男

施設建設には相当な時間がかかる。速やかに事業を進める必要がある。

可決 賛成多数

総務厚生

第6回 9月18日

認定こども園の方針は

保育園型か幼保型かの検討をしている。

令和8年中に決定し、

令和9年4月1日から認定を受けたこども園が始まる予定。

【場所】
村議会議員控室

税住民福祉課
井上課長

【内容】

認定こども園の方針説明を受ける。

現在、認定こども園を

題が多くこれから決めていく。

高年齢福祉施設建設に向けた説明

【説明員】

保健医療課 土井課長

【内容】

7月26日、NT・今山で道路工事の説明。

8月2日、NTからの要望に再度説明。

施工者、工期、作業時間、安全対策、工事車両通行区間・通行時間・制限速度などの説明。

設計図によると、1階にデイサービス、2階に地域交流スペースなど。個室で80床。

【課題】

Q 大型車両の通過でNT内の下水管が破損の場合、修理費用の負担の取り決めは。

A 詳細な取り決めはない。通常維持管理の負担割合となる。

土木経済

第3回 8月7日

野殿無断開発の現場視察

旧指導。

7月30日山城広域機動班案件に指定。

令和7年好景気の村茶

【場所】

野殿地区無断開発場所

【説明員】

建設環境課 末廣課長

【内容】

村は3月に監視カメラの設置。

4月にはドローンにより開発範囲の確認。

5月28日にカメラを現場前に移動によりトラックの頻繁な出入り、土砂の搬入搬出確認。

不法投棄防止旬間中5月30日に、府機動班（府関係機関・警察・村）立ち上げて協議し、6月9日警告文書発出した。

6月23日、行為者立ち会いで現地調査。違法行為の確認。開発行為中止の指導。依頼、開発行為は止まっている。

7月29日、開発地北の水質検査。現地山林の復

数量は98%で平均単価216%。煎茶数量は78%

で平均単価114%。刈直は77%で平均単価196%。

村は17億8000万円を超える金額で、昨年の10億3000万円を大きく上回る。秋番茶を入れるとさらに増える。茶市場は3倍の金額となっている。今後10年は続くと思われる。

【場所】

役場第2会議室

【説明員】

J A 南山城村支店 田中様

【内容】

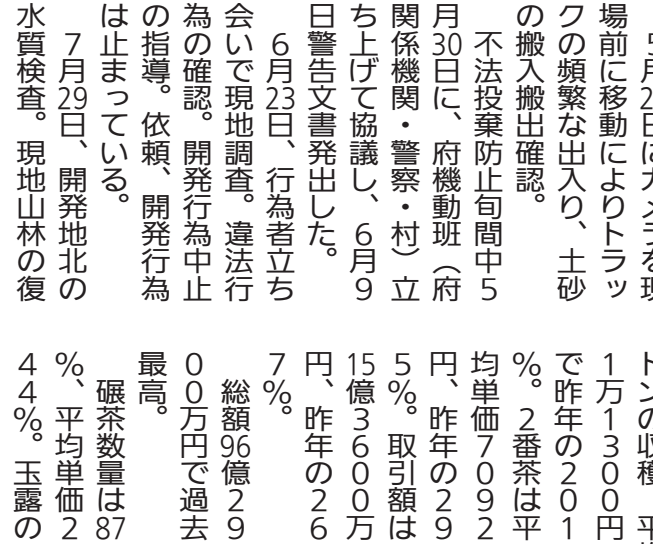
昨年の81%で712トンの収穫。平均単価が1万1300円で昨年の201%。2番茶は平均単価7092円、昨年の295%。取引額は15億3600万円、昨年の267%。

総額96億2900万円が過去最高。

碾茶数量は87%、平均単価244%。玉露の



認定こども園を検討中の保育園



野殿地区の無断開発現場

相楽東部広域連合

第2回定例会が令和7年7月28日に開催されました。
主な案件は次の通り。

○令和7年度 一般会計補正予算(第1号)
補正額(減) 1317万円
補正後 歳入歳出総額 10億5154万円
可決 全員賛成

京都府後期高齢者医療広域連合

第2回定例会が令和7年8月7日に開催されました。
主な案件は次の通り。

差引差額 80億6630万円
認定 賛成多数

○令和7年度 特別会計補正予算(第1号)
補正額(増) 1億9547万円
補正後 4441億 437万円
可決 全員賛成

○令和7年度 一般会計補正予算(第1号)
補正額(増) 6416万円
補正後 12億4762万円
承認 全員賛成

【決算認定】

○令和6年度 一般会計

歳入歳出決算 18億3426万円
歳入 17億8397万円
歳出 5029万円
収支差額 **認定 賛成多数**

○令和6年度 特別会計

歳入歳出決算 特別会計
歳入 4317億8443万円
歳出 4237億1813万円

後期高齢者医療資格確認書	
有効期限 交付年月日	
被保険者番号	
住所	
氏名	
生年月日	
資格取得年月日	
負担割合 発効期日	
限度区分 発効期日	
長期入院該当日	
特定医療区分 発効期日	
保険者番号並びに保険者の名称及び印	京都府後期高齢者医療広域連合 印

後期高齢者医療資格確認書

京都地方税機構

第2回定例会が令和7年8月29日に開催されました。
主な案件は次の通り。

【決算認定】
○令和6年度 一般会計
歳入 26億4484万円
歳出 26億4258万円
不用額 6769万円
※村負担額 570万円
認定 賛成多数

山城病院組合

第2回臨時회가令和7年8月20日に開催されました。
主な案件は次の通り。

○病院組合組織条例の一部を改正する条例
可決 全員賛成

○病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例
可決 賛成多数

令和7年度 南山城村議会地域報告会

日時 11月18日(火) 午後7時
場所 やまなみホール
対象 全村民

日時 12月7日(日) 午後7時
場所 やまなみホール
対象 南山城村消防団

村政を問う

一般質問

Q&A

北久保

村長

三位一体の防災体制を整える

大規模災害に対する備えは



京都府総合防災訓練（京都府）

一般質問は事務の執行状況、将来の方針などの所信や疑問をただし、政治責任を明確にし、結果として、「現行の政策変更や新規政策を採択」させる効果があります。
また、村長には議員の質問に対する反問権を付与しています。
原稿は本人から提出されたものです。



きたく ぼひろし 議員
北久保浩司

設を中心とした避難所を地域防災計画に指定している。

備蓄については、最低限の飲料水・食料・衛生用品や感染症対策物資を配備している。

路の確保と各地域との連携強化を図っていく。

法は。

緊急速報エリアメール・SNS・防災行政無線など多様な情報伝達手段を組み合わせ情報発信ができるよう、必要な情報が届けられる仕組みを強化する。

災害時のインフラ復旧はどのようになっているか。

水道・電力・通信・道路といったライフラインの応急復旧を最優先とする。

村には、各地域に自主防災組織があるが、温度差があるように思うが。

自主防災組織の発展的な活動に対しては、地域リーダーの育成が急務であり、地域で活躍いただける防災士の養成に、京都府とともに連携し取り組んでいる。

自助について、より理解し備えることが大切だと思いますが。

耐震・家具の固定や、食料備蓄の啓発、社会福祉協議会や区・自治会を通じた防災講座を開催し啓発に努めている。

消防団の大規模災害時活動の範囲と活動時間について、村としてどの様に考えているのか。

消防団長とも定期的な意見交換を実施し、安全確保を最優先に必要に応じて活動時間を延長・交替勤務を組み合わせ体制を整える。

大規模災害への備えは自助、共助、公助のバランスが重要であり、具体的には個人備蓄、地域での助け合い、自治体による支援体制の整備が挙げられるが。

連携し、相互に補充しあう体制を築くことで災害時に住民の命と生活を守ることが可能となる。

避難所の開設、運営状況、運営体制は。

本村では地域の実情を考慮し、公共施設

高齢者や要配慮者への避難指示体制について。

要配慮者への対応として、定期的な名簿更新を実施し、個別避難支援計画の策定を進めている。

個別避難計画をもとに安否確認、避難手順の周知を徹底し安全な避難経

路の確保と各地域との連携強化を図っていく。

企業版ふるさと納税の進捗状況は

村長

大口寄附もあり更なる推進に努める

Q 企業版ふるさと納税にはトップセールスが大切だと言ってきたが、現状の進捗状況はどうか。

A 村長 企業版ふるさと納税には、村が抱える課題や目指すべき方向性を企業様にお伝えし、ご

理解をいただくことである。そのためには、トップセールスの実施は欠かせないと考えている。

令和7年度現時点で8件、総額1150万円の寄附をいただいている。大口として500万円の寄附が2件実現した。

Q 引続き更なる収入確保のため進めて下さい。

A 村長 今後も村の1層の発展に向け尽力したいと考えている。

村の農業施策について

Q 昨年来米価が大きく上昇しており、政府は減反政策から増産へかじをきるとの話であるが、村では荒廃農地が増え農業者も減少している。

村の農業政策の方針、対策を伺う。



ひろおまさお 廣尾正男 議員

A 村長 村の農業を取り巻く状況は、農業者の高齢化、後継者不足、人口減少、荒廃農地の増加など複合的な問題を抱えている。

現状は、村の主産業である茶業に対し重点的に支援を行っているが、他の農産物に対する支援の充実も必要と考えている。米作り農家への支援は、これまで農業共済保険への補助や、米価下落緊急対策事業による支援を実施してきた。また、獣害柵やハウスの資材補助を実施している。

しかし、水稲生産に関する支援は、財源の確保が難しく村独自の継続的な支援策の確立には至っていない。

国や京都府の補助制度に頼らざるを得ない状況



休耕地 (奥田)

であり、補助制度の要件緩和や所得補償制度創設などを要望したいと考えている。

荒廃茶園の有効活用は

Q 今年はお茶の消費拡大により高額な取引と伺うが、茶農家も減少し荒廃茶園が見受けられる。荒廃茶園の面積は把握しているのか。

A 村長 村の荒廃茶園面積は52.9ヘクタールとなっている。

Q 有効活用、再利用はどうか考えているか。

A 村長 製茶工場の誘致に伴う茶葉需要増を見越し、荒廃茶園を含めより耕作しやすい茶園整備を進め、スマート農業機器を活用した営農による持続可能な農業の仕組みづくりを模索したい。

また、荒廃茶園に咲く「お茶の花」を活用した化粧品といった、付加価値を生む加工品の製造事例もあるので、引き続き検討してまいりたい。



ふるさと納税を活用した保育園の施設整備

久保

地籍調査にあたり 専門職の採用を

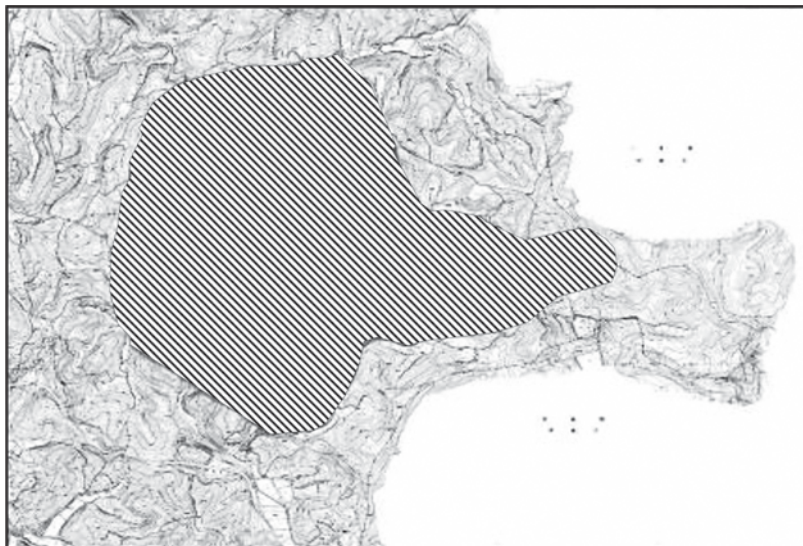
村長

土地家屋調査士会に指導を要請



くぼけんじ 議員
久保憲司

Q 村の「財産管理台帳」はどの程度まで完成したのか。
A 村長 地方公会計制度に基づく財務書類作成



地域活性化エリア（田山奥山）

に必要な固定資産台帳は備えているが、財産台帳の整備には至っていない。

Q 村の財産管理や地籍調査事業の実施については専門知識が必要であり、専門職を採用する考えは無いのか。
A 村長 中長期的には職員で行えるようになるのが望ましいと考える。

職員

Q 民間の開発事業者による測量成果を活用する方法もあるのではないかと。
A 村長 例は少ないものの、地籍調査の図面として採用されたこともあり、参考にしたい。

村版「都市計画」の策定について

Q 村は都市計画区域ではないが、以前に「ゾーン設定」がされている。しかし、具体的展開も公表もされていない。

「ゾーン設定」を見直し、より具体化することにも一般に公開することで、開発事業者を呼び込むことができるのではないかと。

A 村長 企業誘致につ

職員

ただ、人材確保が難しいのが現状である。

先に、京都府土地家屋調査士会様と意見交換を行い、専門家の派遣や指導について要望している。

まずは、京都府土地家屋調査士会様と意見交換を行い、専門家の派遣や指導について要望している。

Q 田山地域で広範囲に土地買収が進んでいる。計画では「果樹植栽」となっているようだが、現地はほとんど動いていない。

今、まさに村が積極的

には初期段階から主体的に関与し、事業計画の方向性や影響を事業者と共有しながら進めてきた。

Q 田山地域で広範囲に土地買収が進んでいる。計画では「果樹植栽」となっているようだが、現地はほとんど動いていない。

今、まさに村が積極的

A 村長 村が主導的に開発を誘致する場合、公共機関としての中立性・公平性・透明性を確保する必要があり、地域住民からの信頼にも繋がることから、慎重にならざるを得ないと考えている。

前に出て、村のニーズに合致した方向に事業者を指導する仕組みづくりが重要である。



果樹植栽予定地（田山）

③令和7年度補正予算

⑤決算認定・条例改正など

⑦常任委員会報告

⑨一般質問・北久保

⑩一般質問・久保

⑪一般質問・齋藤

⑫一般質問・土岐

防災時に衛星インターネットを

村長

費用面や運用方法の検討が必要

Q 能登半島地震では、地中に埋設された光ケーブルや電線も断線するなどとして、多くの基地局が機能を失い、いつ食料が届くのか、水道、電気、ガスなどの復旧など被災

状況が不明となった。衛星インターネットの活用により改善が図られた。村での考えは。

A 村長 災害時の通信遮断を防ぐため衛星インターネットの有効性は理解している。費用面や運用方法を含め具体的な検討が必要だ。防災行政無線や災害時優先電話としてTE回線を活用した無線機を備えている。

小中学校体育館にエアコンを

Q 連合議会でも質問したが、財源は村なので、村としての考えは。

A 村長 避難所や教育環境を考えると夏の熱中症予防から必要性は理解している。大幅な改修が必要なので、長期的な視点で検討したい。



うめ もとしょういち
梅本章一 議員

役場庁舎建て替えの検討は

Q 基金がようやく積み立てられた。

令和7年の施政方針では、有事に対応できる役場庁舎建て替え検討委員会で具体的に進めるとある。財源は辺地債や過疎債を使えないのか。

A 村長 現在の役場庁舎は老朽化し土砂災害特別警戒区域に立地し、有事の際防災拠点として機能を維持できるか検討。昭和39年に建設され、法令など基準が大きく変わってきている。数回検討会を開催し、構想から8年程度必要で、20億円程度必要となる。

今年度の村づくりビジョン改定で、10年構想として行きたい。辺地債や過



立て替えが待たれる役場

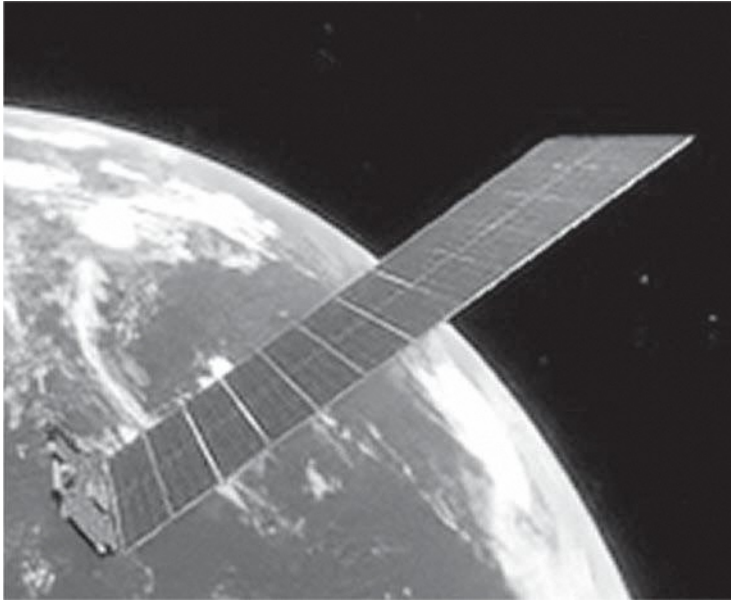
疎債は庁舎建て替えには使えない。

村での空き家や対策は

Q 1人暮らしの方も増えてきて、隣の方が家を処分され、誰が持ち主か分からず、出入りが外国人で民泊のようになっている所もあると聞く。

大阪など、特区民泊を離脱する自治体が増えて

A 村長 村内の民泊の現状については、住宅民泊事業法、民泊新法により届け出をされて民泊している件数は把握出来ていない。大阪の一部自治体では特区民泊から離脱する動きが出ている。本村には宿泊サービスを提供する複数おられる民業圧迫にならないよう配慮して民泊のあり方を模索していく。



能登地震で活躍した衛星インターネット（スペースX）

齋藤

家屋耐震化費用の半額補助できないか

村長

ニーズを調査し、検討したい



さいとう かずのり
齋藤和憲 議員

Q 能登地震の直接死因の多くは「住宅の下敷き」
①村の昭和56年以前に建てられた非耐震化家屋は現在何%か。
②過去3年耐震改修の実績を確認したい。
③耐震改修の最大の補助金額はいくらか。
A 村長 ①70%。
②耐震改修は2件。



災害時村の命をつなぐ防災倉庫（本郷）

Q 過酷な避難生活による、高齢者等の災害関連死も多い。
緊急避難場所や指定避難場所でのトイレや食事などは確保できているか。
A 村長 洋式トイレな

Q 耐震改修は数百万円かかる。高齢者には負担が大きい。せめて、半額補助が出来ないか。
A 村長 内容は理解するが、まずニーズを調査し、検討したい。

③国、府、村で合計150万円。

Q 以前、NTで火事が起きた時、消火栓を使って初期消火した。危機管理が甘い。専決や予備費を使ってでも即補充すべきだ。

Q 今、火事が起きたらどうするのか。
A 村長 積載車等にも筒先予備がある。

Q 筒先補充は専決しても早くすべきだ
Q NTで7月中旬に消防ホース先の筒先の盗難が発生した。
①筒先の盗難数は何個かまた、他の地域にはなかったのか。
②盗難が発生して、1カ月以上経つが補充はされたのか。
A 村長 ①合計18か所。他地域はなし。
②補充されていない。9月議会補正予算可決後、補充したい。

Q 現在の「村づくりビジョン」は令和7年度までで、令和8年度から新たな「村づくりビジョン」が必要になってくる。そこで質問する。
①現在の村づくりビジョンの進捗状況を確認したい。
②今回作成ビジョンの計画は何年か。
③未達成項目は次期ビジョンに反映するのか。
④南海トラフ対策も記述されるか。
A 村長 ①81項目中55

ど確保している。食事はキッチンカー団体と協定を結んでいる。
次期ビジョンに体育館のエアコン設置を記述すべき

A 村長 次回から検討したい。

Q 現在の「村づくりビジョン」は令和7年度までで、令和8年度から新たな「村づくりビジョン」が必要になってくる。そこで質問する。

項目で67%完了。
②来年8年度から10年間の計画期間。
③未項目事業は再度精査し、方向付けしたい。
④近年の豪雨災害などの防災・減災を記述したい。



筒先が盗難された消火栓BOX（NT）

Q 国は心身への負担軽減のため、エアコン設置は推進している。文科省の「学校施設環境改善補助金」や交付税措置を利用すれば、実施負担は25%、1億円の事業なら2500万円で整備できる最低でも来季村ビジョンに事業登録すべきだ。
A 村長 事業費1/4で出来るなら検討したい。

戦後80年平和宣言の発信を

村長

平和への決意と信念を伝えていく

Q 2度と戦争はしないと誓った「非核・平和南山城村宣言」の村で戦後80周年の節目に、村長から「平和のメッセージ」を求める。

広島・長崎の「平和宣言」は核や戦争をなくそうと世界に発信された。この村で亡くなられた121人の無念、濫伐による自然破壊で南山城大水害となった。

2度と戦争の惨禍のない決意の表明こそ必要だと思ふが。

A 村長 この宣言に基づき平和への決意と信念を次世代へと正しく伝えていく事が私たちの責務と考える。

歴史を学び教訓とすることで一人ひとりが平和への意識を持ち続けることが重要だと考えている。世界では紛争や戦争は続いており、世界中が平和の実現に向けた行動とともに起こす必要がある。

Q 戦後60年に当時の橋本村長の「メッセージ」を発しているが、今回は

A 村長 それは尊重するが、今回は発しない。

ゴミ出しの仕組みは住民参加で検討を



かずき かおる 議員
鈴木かほる 議員

Q ゴミ出し・収集は高齢化に伴い困難度を増している。

住民参加で、各地域の実情に合う方策の検討が必要ではないか。

A 村長 今後必要と判断したら設置する。先ずは内部で検討する。

Q 地域で安否確認、避難弱者の把握など防災にも繋がる。

A 村長 地域での助け合いや「まごの手サービス」の活用で個別の対応をお願いしたい。

ゴミ処理場建設は地球環境にも配慮したモノを

Q 伊賀市等4市町村のゴミ処理場建設計画情報を村民にも逐次公開を。

A 村長 基本構想の策定中、事業方式も審議の



伊賀市、名張市、笠置町及び南山城村ごみ処理広域化検討協議会における会議開催の開催風景

途中。結果はHPで閲覧。

Q ゴミの減量化と資源化への取り組みは。

A 村長 更なる減量化資源化に向け取り組み。

Q 今後の計画は。

A 村長 第4回協議会を10月に開催し基本構想の中間案確認。パブリックコメントを10月下旬、11月下旬に実施。

建設費用や運営母体は基本構想策定の中で決めていく。

Q 地球温暖化や環境汚染問題など将来を見据えた判断こそ求められるが、村長の見解は。

A 村長 定量評価だけでなく定性評価を行っていく。地域にとって、一番良いゴミ処理方法を決めていく。



非核の看板（役場駐車場）

土岐

汚染源の確認・確定を進めるか

村長

調査はする必要がある



とぎ きたろう 議員
土岐太郎 議員

Q 本格的な指導まで、数年間かかったが、現在は完全に不法投棄が止ま

Q 現在も継続的に行われているか。
A 村長 現地の立ち入り検査を実施し、行為者へ指導した。出入りする業者のトラックも監視カメラに写っていない。



一般細菌・大腸菌・臭気と基準値超過（野殿）

Q 2024年のニュー
村内の水道で検出されたPFAS

A 村長 飲料水としての基準は超えてるが、川の水としては異常ない。

っており、村長、建設課長、並びに振興局の方々がご尽力いただいた賜物だと思う。一村民として敬意を表する。しかし、2025年度の水質検査では、一般細菌・大腸菌・有機物・臭気・色度・濁度と基準値を超えているが。

Q 18個の比率は全体のいくらになるか。
A 村長 35・3%に当

A 村長 消防担当に聞いて大丈夫という返事があったので、購入をしなかった。

Q 7月6日に消防ホースの筒先が5個、8月3日には13個窃盗にあった。現在、いまだ筒先が備え付けられておらず、安全安心を憂慮せざるを得ない状態で、二ヶ月が経ったが。

Q 消防設備の窃盗

A 村長 PFASに限らず、重金属等の調査はする必要があるので。

Q 汚染源の確認・確定をすすめるか。

A 村長 汚染源は特定できていない。タウンの水質検査では、PFAS（有機フッ素化合物）が22ng/L、保健センターでは17ng/Lが検出されているが何故か。村長 当村の水道水についても、発生源は特定できていない。



盗難にあった筒先は2ヶ月も放置

Q 滋賀県南部でも同様の事案が発生している。把握しているか。
A 村長 それは承知していない。

Q 警察に被害届は出したか。
A 村長 まだ、出してない。近々早急に対応する。

Q ニュータウンには、四つの公園と里山自然広場がある。どれも、手入れが行き届かず、利用者の福祉の向上につながっているように思えない。そこで、型にハマった遊びよりも、自ら遊びを創造することができる「公園の芝生化」。

A 村長 まだ、出してない。近々早急に対応する。

Q ニュータウンには、四つの公園と里山自然広場がある。どれも、手入れが行き届かず、利用者の福祉の向上につながっているように思えない。そこで、型にハマった遊びよりも、自ら遊びを創造することができる「公園の芝生化」。

また、新たな視点からの住民の満足度の向上を目指し「ドックランの設置」を提案する。

A 村長 維持管理が大変だが、皆さんが集えるような公園をひとつ作るというのは名案ではないかと思う。



団体紹介コーナー No.140

NT防災部

NTの安心・安全を 守って13年

月ヶ瀬ニュータウンの防災部は平成24年6月に9名で発足しました。この間に部員の高齢化も進み数名の入退がありました。直近では女性2人の入部もあり、現在12名で活動しています。

発足当時の活動

発足当初は消防団活動との線引きが解らず、防



防災部員 上列右から3番目 小林部長

災活動とは何かと協議・模索したものです。結果は平時・緊急時の手順を明確にすることに始まり、防災マニュアルを作成することにしました。完成までに1年を経て活動の方向性が見えてきたものです。

日常活動

当部の活動はこのマニュアルに沿って、備品の

マニアルは平時／緊急時の組織とその役割を記述したレベルで、実際に災害となればマニュアル通りに行動できない可能性が高いのですが、行動の指針となればと思っています。

今後の活動

災害発生時には当部員も被災者で前述のマニ

過去には、起震車体験 普通救命講習／初期消火訓練／防災備品の展示会／避難訓練（安否タスキ確認）／部員の避難所泊体験あとを住民が見学／簡易トイレ設置訓練、緊急時のスリッパ作成を行ってきました。又適時、防災ピラを配布して啓蒙に努めてきました。



NT設置の防災倉庫

アル通りに活動できるとは限りません。当部が管理中の機材も誰もが据付操作できる訓練が必要と考えています。又、災害が発生すれば公的支援が入るまで「自助」、「共助」は必須となります。コミュニティの活性化を図ることが「自助」、「共助」の拡充に繋がるため、訓練を通じて参加者同士が触れ合える機会になるように工夫を加えてまいります。

12月議会日程表 (予定)

- 12月4日(木) 一般質問
- 5日(金) 議案審議
- 10日(水) 予算決算常任委員会
- 11日(木) // (予備日)
- 19日(金) 議案審議
- 25日(木) 会期末

傍聴席は25席 傍聴にお越し下さい。

〔表紙〕村の特産品 原木シイタケを残そうと頑張っている 山田さん(田山)

議会だよりへのご意見・ご要望は議会事務局 ☎0743-93-0121 またはd_gikai@vill.minamiyamashiro.lg.jpまで 「議会だより」は村のホームページでもご覧いただけます。 南山城村役場ホームページアドレス <http://www.vill.minamiyamashiro.lg.jp>

南山城村 議会だより 検 索

編集・発行／南山城村議会 〒619-1411 京都府相楽郡南山城村北大河原久保14-1 ☎0743-93-0121 ✉d_gikai@vill.minamiyamashiro.lg.jp

印刷／西本印刷株式会社 〒619-0217 京都府木津川市木津町八ヶ坪4 ☎0774-72-0064 ✉0774-72-1064 E-mail nipin@silver.ocn.ne.jp

地球環境に配慮した用紙とインクを使用しております。

- ②令和7年度補正予算
- ④令和6年度決算認定
- ⑥退職勧告
- ⑧一部事務組合ほか
- ⑩一般質問・廣尾
- ⑫一般質問・梅本
- ⑭一般質問・鈴木
- ⑯村北南